



学校目標：

命に目を向け、子どもの夢を育む平第一小学校



思いやりのある子ども(感性・協調性等)

進んで学ぶ子ども(思考力・判断力・表現力等)

たくましい子ども(意志・自主性・忍耐力等)

重点

一人一人のよさを認め、互いに助け合い高め合う子ども

重点

基礎・基本を確実に習得し、主体的・対話的に学び合う子ども
学んで得た知識・技能を活用できる子ども

重点

自分のめあてを持ち、粘り強くやりぬく子ども
体力を高め、健康や安全に気をつける子ども

実践事項

- 各学年で命の大切さを指導し、自分に自信が持てる子どもを育てます。
 - 道徳科を中心に、学校生活全体を通して、道徳的実践力を高めます。
 - 授業参観時に1年間に1回は道徳の授業を行います。
 - 学級・学年通信等を通して、家庭と連携した道徳教育を推進します。
 - 鎮魂祭、3・11近辺において命の大切さを指導します。
- 全校であいさつ運動を推進します。
 - 特に、朝のあいさつと会釈に力を入れます。
- よさを認め合い、助け合う心をはぐくみます。
 - 集会・清掃・読み聞かせ等の縦割り班活動や委員会活動・クラブ活動を実施します。
 - 異学年やあげつち学級との交流、他校種との交流等様々な交流を行います。
 - 広報委員会を中心に「ありがとうの丘」を活用します。
- 子どもたちの悩みや問題の早期発見と早期解決に努めます。
 - 学年・学級の枠を越えて子どもたちに声をかけます。
 - 養護教諭と連携し、悩みや問題などを相談できる体制を構築します。
 - 学期ごとに困りごと調べを行います。
 - ケース会議を行い問題の早期解決に努めます。
- 積極的な生徒指導を行います。
 - 子どもたちのよい所を教師間で共有し、子どもたちに広げます。

実践事項

- 基礎的・基本的な内容の確実な定着と活用力の育成に努めます。
 - めあてを明確にし、わかる授業を実践します。
 - 子どもどうしが話し合いながら学び合う授業を目指します。
 - 家庭学習提出率9割以上を目指します。
- 算数科を中心とした授業研究に努め、日々の授業の充実を図ります。
 - 算数科授業公開協力校として、算数科の研究を進め教師の授業力向上を図ります。
 - 「現職教育」や「授業を見合う会」の充実を図り、分かりやすい授業の構築を目指します。
- 学校図書館・コンピュータ室のセンター的活用や読書活動の推進により、学びの充実を図ります。
 - 学習センター・情報センターを活用した授業の充実を図ります。
 - 読書活動を推進し、本に親しむ態度を育成します。
 - 教養指導委員会、ポケットさん、子どもどうしの読み聞かせを充実させます。
 - 司書教諭、学校司書等、組織を生かし図書館運営協議会を年2回実施し読書活動を推進します。
- 授業の中で本物に出会い本物に学ぶ機会を設定し、子どもたちの夢を育みます。
 - 地域の特性を生かし外部講師を積極的に導入したり、体験学習を充実させたりしながら、授業の充実を図ります。

実践事項

- 日常生活に必要な基礎的生活習慣の定着を図ります。
 - 「生活のきまり」をもとにした指導を継続し、規範意識を高めます。
 - 「そろえる」「歩き方」
 - 家庭と連絡を取り合いながら、規則正しい生活習慣を身につけることができるようになります。(言葉遣い・時間・メディア)
 - 朝食調べ、親子ふれあい弁当デーを年2回行います。
- 体力を高め、運動能力の向上を目指します。
 - 大休憩に元気に外遊びをするなど、運動に親しむよう指導します。
 - 業間運動を実施し、体力の向上を図ります。
 - スポーツテストを全学年で実施し、目標を明確に持って、体力づくりに取り組むことができるようになります。
 - 体育の授業で運動身体づくりプログラムを実践するなどして、基礎的な運動技能を身につけることができます。
- 防災意識を高め、危険予知や危機回避能力の育成を目指します。
 - 交通教室や校外学習の場で具体的に交通ルールを確認します。
 - 家庭や地域、見守り隊との連携を図り、危険を予知し回避できる力を育てます。
 - 関係機関と連携し、AEDや人工呼吸、エビペンなどの研修会等を実施し、子どもたちの命を守る体制を構築します。
 - 年2回避難訓練、不審者対応訓練を行います。
 - 年1回引渡し訓練を行います。

保護者や地域、関係機関との連携を一層深め、地域と一体となった開かれた学校を目指します。
外部評価を取り入れ、学校経営に活かします。